

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	特別活動の教育法				
担当者氏名	梨木 昭平				
授業方法	講義	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

特別活動は、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事などへの参加を通して、児童・生徒の個性や人間関係の発達を促す極めて重要な教育です。本講座では、特別活動の意義、目標、内容、特別活動と教科、道徳、総合的な学習の時間などとの関連に重点を置いた指導を進めながら、教育現場で通用する指導計画の作成・学習指導案や模擬授業の構想等の実践力の育成を図ります。

《授業の到達目標》

1. 学級や学校での児童生徒の集団生活に関心をもち、その人間関係、集団活動への関わり方、生活の充実に向けた指導の在り方を意欲的に学ぼうとする。
2. 特別活動の意義、目的、内容、学校行事の特質などに関する基本的な内容を理解している。
3. 特別活動の学習指導案や指導のあり方等について主体的に考えたり、表現したりしている。

《成績評価の方法》

1. 確認テスト 70%
  2. スピーチ 30%
    - 確認テストは2回実施（①35点+②35点=70点）
    - スピーチは学習指導案等の発表。
- ※ 欠席・遅刻の状況に応じて減点されます。

《テキスト》

『「総合的な学習」・「特別活動」指導法』（梨木昭平・三恵出版）

《参考図書》

『道徳教育法・特別活動指導法』（梨木昭平・大学教育出版）

《授業時間外学習》

- 表現力育成のための資料作成
- スピーチのための準備学習と模擬授業

《備考（教員経験の有無）》

この教科は高校の教員経験に基づき構成しています

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション 特別活動の意義・目標	① オリエンテーションで学習の概要をつかむ。 ② 「特別活動」の具体的な内容と目標を小学校を中心に校種別につかむ。
2	特別活動の歴史	① 特別活動の創設経緯（いきさつ）を把握する。 ② 学習指導要領の変遷（特活の歴史）を理解する。
3	学級活動 （目標と内容・指導例）	「学習指導要領」を踏まえて「学級活動」（＝学活）の具体的な内容と指導法の要点をつかむ。
4	児童会・生徒会活動	児童会・生徒会活動の意義・具体的な内容、その要点をつかむ。 児童会・生徒会活動の歴史の変遷を理解する。
5	学校行事① （目標と内容）	儀式的行事と文化的行事について理解を深め具体例について意見交換する。
6	学校行事② （目標と内容）	体育的行事と宿泊的行事について具体例について理解を深める。
7	学校行事③ （具体的指導例）	奉仕的行事について理解を深め、5種類の学校行事を素材に指導例を構想する。
8	中間まとめと学習指導案 ①（指導観・指導計画）	中間まとめの後、特別活動の年間指導計画作成上の留意点をつかむ。
9	学習指導案 ②（指導観・指導計画）	特別活動の指導案を作成し発表する。
10	特別活動と学習指導案	特別活動の指導案を作成し発表する。
11	模擬授業の実施	一部の特別活動の模擬授業を実施する
12	模擬授業のふりかえり・反省	模擬授業についてふりかえり、改善点を考える。
13	総合的な学習の時間と特別活動	特別活動の関連指導（「総合的な学習の時間」との）について、指導案を作成し発表する。
14	特別活動と教科等との関連指導	教科等との関連指導の具体例（クロスカリキュラムとの関連）を作成し発表する。
15	まとめと「確認テスト」	① 学習のまとめをする。 ② 「確認テスト」を行う。